

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	外部への業務委託の効率化を進め、公園内の清掃・除草や樹木剪定などの維持管理に努め、城内の景観の向上を図れた。また、天守閣周辺の森林帯の整備による和歌山城の景観維持、老朽化の著しい石垣の保全等に取り組み、来園者が、安全且つ快適に和歌山城を楽しめる環境づくりができた。さらに扇の芝整備事業については、事業用地の公有化を進めることができた。
見直し・改善内容	動物園の管理運営を民間事業者への委託とし、動物とのふれあいを充実させるなど、引き続き来園者の満足度向上を図る。また、公有化が進んでいる扇の芝について、景観向上を図るために整地工事を実施する。